

奈良市の幼保再編の取組と 飛鳥幼稚園の現状について



奈良市子ども未来部
子ども政策課

資料の内容

- ① 奈良市の現状
- ② 飛鳥幼稚園の現状

① 奈良市の現状

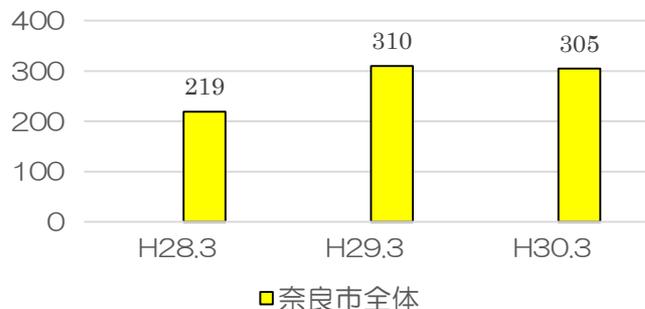
待機児童の増加

幼稚園の過小規模化

施設の老朽化
(市立施設整備補助金なし)

保育士・財源不足

待機児童数の推移



待機児童数は増加傾向にあり、飛鳥小学校区でも多くの待機児童が発生しています。

再編による市立こども園化

民間移管による私立こども園化

民間保育所の新設

① 奈良市の現状

奈良市の現在の再編計画について

市立幼稚園
市立保育園



市立こども園

市立幼稚園
市立幼稚園

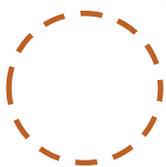


市立こども園

市立こども園へ移行する場合には、基本的には近隣の市立保育園または市立幼稚園どうしを再編し、移行します。

この場合、基本的にどちらかの施設を活用し、移行します。（隣接する施設の場合は、分園方式によりどちらの施設も活用する場合があります。（例）神功こども園、朱雀こども園）

市立幼稚園



私立こども園

市立保育園



私立こども園

近隣に再編する幼保施設がない場合や、利便性が良い、定員拡充を行うことで待機児童の解消に寄与できると見込める地域である場合等は、民間活力を活用し、私立こども園への移行を検討します。民間移管により、事業者のノウハウを活かし、更なるサービスアップを図ります。（例）鶴舞こども園、右京保育園）

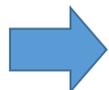
① 奈良市の現状

平成30年度現在、奈良市では以下の民間移管・こども園移行計画を公表しています。

民間移管計画（H32年度まで）

[現状]

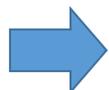
鶴舞こども園



[平成32年4月]

公私連携幼保連携型認定こども園

右京保育園



公私連携幼保連携型認定こども園



市立こども園移管計画（H32年度まで）

[現状]

辰市保育園



[平成31年4月]

（仮称）辰市こども園

辰市幼稚園

伏見幼稚園



（仮称）伏見こども園

あやめ池幼稚園

学園南保育園



（仮称）学園南こども園



② 飛鳥幼稚園の現状

- 園児数が年々減少している
 - ・・・右図のように、園児数は減少しており、平成31年度はさらに減少する見込み。
(最盛期は、13学級あった年も)
- 3年保育や給食、預かり保育等、保育ニーズに対応できていない。
 - ・・・地域ミーティングの際の保護者アンケートでも「3年保育」、「預かり保育」、「給食」の実施希望が多い。これは他の2年保育の公立幼稚園も同じく、多い声であるが、財源・人材的に奈良市立全ての幼稚園で上述のニーズに応えることは非常に困難。
- 園敷地全て借地のため、毎年賃借料が発生。
 - ・・・最近では上述の園児の減少に伴い、保育室は14室あるが、学級数は2であり、効率的な運用ができていない状況。
- 待機児童は奈良市全体はもちろん、飛鳥小学校区でも多くの待機児童が発生している。

◇飛鳥幼稚園園児数推移

	4歳	5歳	計
H4.5	90	85	175
	⋮		
H22.5	21	41	62
H23.5	21	24	45
H24.5	28	24	52
H25.5	19	30	49
H26.5	14	23	37
H27.5	27	15	42
H28.5	14	28	42
H29.5	9	15	24
H30.5	7	9	16

② 飛鳥幼稚園の現状

現時点での飛鳥幼稚園の方針

- 平成32年度末までは、現状のまま運営を継続します。
（少なくとも、平成31年4月に入園される園児が卒園するまでは、園運営を継続）
- その後の方針については、現在検討中であり、あらゆる保育ニーズへの対応及び適正な規模で学び合い・育ち合える環境作りのため、できるだけ早急に方針決定する必要があると考えています。



